

12月 定例会 12/6~12/19

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

問 全国的に地方議会議員のなり手が少ないという実態。松前町においても前回の議員選挙では町始まって以来、初の無投票となった。意見書の趣旨は十分理解できる。しかし、厚生年金制度は、保険料を労使で折半、町でいえば公費で半分負担となるがどう考えるか。

議員提出議案第1号

★幅広い政治参加や人材確保の観点から厚生年金加入のための法整備を

答 議員年金制度に加入

するためには、法律の改正が必要となる。改正されれば制度として確立され、本人の意思にかかわらず厚生年金制度への加入となる。そうなれば市町村判断によることなく、国の地方交付税で措置される予定。

問 12年以上議員をした

場合年金が出る制度が平成23年に財政面の理由により廃止された。今回、年金制度が復すれば、同様の問題が持ち上がると思うが、どう考えるか。

答 全国的に行われた市

町村の合併による議員数の減、議員定数の削減や報酬の減額により、年金の原資がなくな

なった。

具体的には平成10年全国の町村議員数は4万人、平成26年には1万1千人と激減した。現在の状況は議員数が極端に変化するとは考えられないため議員個人の掛け金と負担金で財政運営が出来る制度になっている。

問 厚生年金加入で1人

当たり、どの位の負担になるか。

答 本人負担が月に3万

5千円位で公費も同じ金額負担。70歳未満の加入で現在の全議員で年間400万位の負担になる。

(全員一致で可決)

福岡県みやこ町議会広報特別委員会の皆さんが、視察研修に。

★11月8日、予定の時刻より早めの到着

で、とても学習意欲を感じる皆さんだった。訪問を受ける私たちも、事前に質問内容のチェックをしていたが町の紹介や広報全般についてもパワーポイントにて説明。

★伝わる広報にするためのポイントを示し、具体例や写真も表示。

- ・読みやすくするための文章構成
- ・注目してもらえそうな写真
- ・見やすいページレイアウト

★2時間半にわたる研修だったが、終始熱心に質問や意見交換ができ、今後の皆さんの健闘を期待している。



研修風景

議会基本条例の作業部会より 中間報告書を全議員に配布

平成28年度から始まった議会基本条例の検討会、昨年9月末に条例案を、昨年9月末に条例案

の具体化や議会活性化の方策を研究する作業部会に改名し、検討を続けた。

このほどその過程での中間報告書をまとめ議長に提出。更に12月議会終了後のに、議員全員にその内容を

に、議員全員にその内容を